ふりがな **氏 名**	あかさか　すみか **赤坂　澄香**	職 名	教授
学 位	修士（心理学）	現在の研究分野	臨床心理学

所属学会	日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本描画テスト・描画療法学会、日本芸術療法学会
主要担当授業科目	「保育内容（人間関係）」、「保育の心理学」、「子ども家庭支援の心理学」、「子ども理解の方法」、「子どもと人間関係」
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし
学会及び社会における 主な活動	日本芸術療法学会評議員（2025 年～）

主な研究業績

［著 書］

・『しつけ事典』一藝社、2013 年（共著）

・『投影描画法ハンドブック　―絵によるパーソナリティ理解―』武久出版、2014 年（単著）

［学術論文］

・「描画体験の評価に関する尺度の作成の試み」『目白大学心理学研究』第 8 号、2012 年（共著）

・「卵画と洞窟画における描画後質問(PDI)の作成に関する研究」『目白大学心理学研究』第 8 号、2012 年（共著）

・「家族画における『表情』に関する研究　―自己イメージおよび親との心理的距離との関連から―」『有明教育芸術短期大学紀要』第 3 号、2012 年（単著）

・「多文化共生保育に関する研究の概観－保育者養成に関連した多文化共生保育研究に着目して－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 5 巻、2014 年（共著）

・「青年期における動的家族画の描画特徴」『有明教育芸術短期大学紀要』第 6 巻、2015 年（単著）

・「保育者養成校の学生の『保育者観』の変化に関する研究　－保育内容『人間関係』の授業検討に向けて－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 9 巻、2018 年（単著）

・「学生が考えるいざこざ場面における保育者の対応　－保育内容『人間関係』における事例学習の結果から－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 10 巻、2019 年（単著）

・「ICT 活用技術を備えた保育者の養成に向けて　－保育内容『人間関係』における授業実践－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 11 巻、2020 年（単著）

・「保育士養成課程における心理学の学び　－「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」の授業に求められるもの－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 12 巻、2021 年（単著）

・「『子ども観』のアセスメント方法の開発に向けた基礎的研究　－心理学的技法を応用して－」『有明教育芸術短期大学紀要』第 13 巻、2022 年（単著）

・「子どもの心を理解する保育者を育てるための指導のあり方に関する実践的研究～『子どもの観察記録』に対する学生の自己評価の分析を通して～」『有明教育芸術短期大学紀要』第 14 巻、2023 年（単著）

・「保育者を目指す学生の『観察する力』『記録する力』『考察する力』を向上させる指導方法に関する一考察　―テキストマイニングを活用した『子どもの観察記録』の感想の内容分析―」『有明教育芸術短期大学紀要』第 15 巻、2024 年（単著）

・「保育者を目指す学生の『子ども観』と『保育観』―テキストマイニング分析から捉えた子どもに対する願い―」『有明教育芸術短期大学紀要』第 17 巻、2026 年（単著）

	［学会発表・公演・講演等］ ・「DAF における描画特徴に関する研究　－Porot の家族画分析法および PDI 分析を用いて－」第 15 回韓国美術治療学会　国際学術発表会、2008 年（共同発表） ・「『マルと家族』（画）の変法による家族の安定度と影響力に関する研究」日本描画テスト・描画療法学会第 20 回大会、2010 年（共同発表） ・「マルと家族画技法に見る親子イメージについての研究」日本描画テスト・描画療法学会第 21 回大会、2011 年（共同発表） ・「マルと家族画の変法の臨床的有用性について」第 21 回韓国美術治療学会　国際学術発表会、2011 年（共同発表）